

部会名：維持管理を考慮した鋼橋の新設設計法研究部会		部会長：中村一史		
会議名称	構成員数	開催回数	平均参加人数	備考（内容など）
全体部会	17	2	17	
幹事会	0	0	-	
WG 1	-	-	-	未定
WG 2	-	-	-	未定
WG 3	-	-	-	未定
部会主催の講演会、報告会および見学会				
開催日時	内容（テーマ）			
R1.11.17～R2.3.31	維持管理に関する話題提供と検討テーマの内容に関する議論（全体部会）			
<p>1. 活動報告の総括（R1.11～R2.3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体部会を2回開催した。</li> <li>・第1回（11/19）の部会では、部会設立の趣旨説明を行って、この部会で検討すべき内容・方向性について、共通認識を持つために自由意見で議論を行った。</li> <li>・第2回（01/17）の部会では、部会長、副部会長より、関連する部会の概要説明を行って、今後の検討の参考とした。また、部会員（各個人）から本部会で検討したい内容について報告し、議論を行った。今後も意見集約を継続して行い、活動の方向性、WGの分担を議論することとなった。</li> <li>・第3回（03/05）の部会を開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、延期することとなり、現時点では、活動の再開は目途が立っていない。意見集約については、継続中である。</li> </ul>				
2. 特別研究費の有無および“有”の場合その内容 : 無				
3. 報告書の作成時期および形態 : 令和3年度下期を予定				
4. その他（要望・連絡・外部発表実績等） :				

2. 令和2年度 部会活動計画

「部会名；維持管理を考慮した鋼橋の新設設計法研究部会」

(R2-NO.1)

1. 活動方針

- ・維持管理における点検・措置、部材等の更新の容易性に着目し、新設橋梁の設計時に考慮・反映すべき事項を整理し、まとめる。
- ・「維持管理を考慮した鋼橋の設計ガイドライン（案）」としてとりまとめ、設計者の実務に役立てることを目指す。

2. 具体的な活動計画

- (1) 検討すべき内容，課題の抽出，既往の研究・文献等の整理・調査（半年程度）
  - －話題提供形式
  - －WG分けをしない，全体で活動
- (2) 具体的な調査研究活動（1年間程度）
  - －テーマごとに2～3のWGに分かれて活動
- (3) 報告書の取りまとめ（半年程度）

3. 特別研究費の有無（申請有りの場合はその時期、年額、研究目的等をご記入下さい）

- ・無し

4. その他 部会運営上の問題や運営幹事会に対する要望、連絡事項等が有ればご記入ください

- ・特になし

